

ことです。美波町を農業研究都市にしたいと思います。大学等の研究機関や農業関係のベンチャー企業を誘致し、農業の共同研究を行いたいと考えています。そして共同研究を通じて近大マグロのような新たな地域食材ブランドを生み出し特産物として売り出していきたいです。サテライトオフィスの誘致を盛んに行ってきた経験やスキルを持つ美波町でなら、民間企業や研究機関の誘致を実現できると感じました。農業を通じた外部との連携・ネットワーク化を進め、美波町を活性化させていきたいと思えます。また近隣の市町村と手を組み県南としてフードバレー事業を進めることも一つの案だと思えます。

研究場所としてだけではなく同時に、農業体験ができるパーク施設を併設することで観光スポットとして活用していきたいと考えています。都市に住むわたしたちにとって農業は縁遠いものです。そのため農業体験も貴重な経験のひとつであり魅力的な体験です。農業体験が観光の一つとなると思えます。具体的な案として例えば、早朝の朝採り農業体験ツアーを考えてみました。お客様に前日に宿泊していただきます。そして次の日早朝に農家の方と共に野菜を収穫していただきます。そして収

穫後は採りたての野菜を地元の奥様に料理していただきます。料理にはお客様も参加することができ奥様からレシピを教えてくださいいただくこともできます。そして自らが収穫した新鮮な野菜料理を食べます。農業体験、農家の方との交流、新鮮な野菜を食べることができるのは都市に住む方にとって価値のあることです。これを一つの観光体験ツアーとして売り出していきたいです。こういったツアーは農業だけではなく漁業にも応用できます。例えば早朝漁業体験をし、漁業の現場を体感していただき



漁師の方と獲ってきた魚を食事するツアーを企画することもできます。こういった体験ツアーは、農業や漁業をしながらも観光収入を得ることができると、農家や漁師にとっても安定的な収入となります。また、この体験活動は個人のお客様だけではなく学校など団体お客様にも提供できると考えています。例えば学校の修学旅行の受け入れなどです。農業は命の恵みを教える教育活動と結びつくと思えます。

三つ目は薬王寺のライトアップイベントです。滞在中、夜スポットライトに照らされた薬王寺が非常に美しく風情があると感じました。これを一つの観光スポットにできるのではないかと考えました。最近京都のお寺や神社では夜のライトアップが大人気であり、プロジェクトショーマッピングなどデジタル技術とコラボした新たなアートイベントも行われています。薬王寺のライトアップイベントをし、夜に楽しめる観光スポットを作ることで観光客の美波町での滞在時間延長、あるいは宿泊に繋がれるのではないかと考えています。

四、美波町の魅力

一週間の活動を通して、薬王寺やお祭りといった文化遺産か

ら、海・山・川の豊かな自然遺産、美波町は様々な資源を持つていることを学び体感しました。そのような多くの資源の中でも、特に私が感動した資源は美波町の「人のあたたかさ」です。活動中は毎日、会う人会う人が初対面でした。しかし美波町の人々は他所から来た見知らぬ学生に初対面にもかかわらず温かく迎えてくれました。古くからお遍路さんが訪れる美波町にはお遍路文化があります。訪れた人を受け入れおもてなしをする文化が代々受け継がれてきていると感じました。この「人のあたたかさ」が美波町の一番の魅力だと思えます。この魅力をもっと感じられるようにしていきたいと思いました。人と人との接点や交流を作ること、美波町のファン、リピーターを増やしたいと思えます。そこでわたしは「つながる美波町」を創っていきたくて考えました。この「つながる」には二つの意味があります。

五、終わりに
一週間、美波町の多くの方にお世話になりました。大阪から来た私を温かく迎え入れてくださりありがとうございました。このような貴重な経験をさせていただいたことには大変感謝しております。美波町は知れば知るほど魅力を感じる町だと思えます。今後もより多くの方に美波町を知っていただけるよう頑張っていきたいと思えます。この美波町とのご縁を今後も大切にしたいと思えます。滞在中お世話になったすべての方に重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。



前述で提案したゲストハウス事業やフードバレー事業を通じて、人と人のつながりが生まれようになりたいと考えました。

